

オールキャスト・レビュー キヤノンボーラー'sマシンCheck!!

室内もグリーンで統一。ダッシュボードは通常のタイプのロールオーバーが気に入っている。



ゼッケン①

RE雨宮super G7

ドライバー:雨宮勇美
ナビゲーター:小宮川 淳

クラスも違えばチューン度も違うそれぞれの出場車。勝ちねらいなら、もちろんGT-Rだ。しかし、キャノンボールの魅力はそれだけじゃない。まだ、行ったことのない土地に向け、全力で走り出すその胸の高まり……。渡る冒険スピリッツ、それが最大の魅力なんだ。勝ち負けだけがすべてじゃない。それぞれの思いを込めた、それぞれのエントリーマシン。キミもじっくり鑑賞してくれ。

雨宮エアロフル装備のセブン。ツリーリング区間でのフルスロットルが見たかった。



純正シーケン改 ツインターボの 湾岸&ストリート仕様

ボディ、内装ともども、全身グリーン。雨宮セブン。速く走れて、目立って、モテる、いかにも雨宮流の作りだ。

エンジンはノーマルのタービンとEXマニを流用、シーケンシャル制御用のアクチュエーターを殺し、単純にツインターボとしているのだ。

ここにインタークーラー、パワーエキスパンダー、マフラー、レスポンスクリナー、CPなどのオリジナルパーツをつぎ込み。最も

大ブースト・0 kg/0.1時に360 PSを発生している。

外観は雨宮さん自慢のオリジナルエアロをフルに装着。バンパーにはインタークーラー用のエア導入に穴を開け、ダクトを導いている。これが効いて、最高速は285 km/hを記録している。

キャノンボール用の装備は、なんとタイヤパンク修理剤だけ。「ボクのは壊れないからネット」って雨宮さん、それはちょっと凄すぎるんじゃないですか？

「ボクはね、公道走るほうが好きだから、別に競技用のパーツはいらないの。だからこれだけ」って雨宮さん……



ライトチューンだが、インタークーラーへの送風ダクトはRE Super G7のステッカーの貼られた部分が決める。



ゼッケン②

エスプリS14シルビア

ドライバー:前川 勝
ナビゲーター:北村欣史

ナビの北村くんは、ミツシヨンOHや、マニホールド製作など、器用さを要求される作業に強い。以前話題になったビート・ターボも北村くんが作ったのだ。

オーバーオールねらいの 最高速シルビア

三重県のエスプリも気合が入っていたシヨップ。なんたって、デフを2種類用意して、ストリート用、最高速用と分けて使おうと、そのためのデフ交換の練習もしたくらいだ。しかし、いざクルマにデフを積もうとすると(キャノンボール精神を貫くため、車載の工具とパーツのみ使用し、ドライバ

ーとナビのふたりだけが作業できるというルールのため)大ますぎで、スペースがなくなってしまうため、最終的には最高速仕様を選んだの出場となった。

仕様はD06・25Gタービンや大型のインフィニティ用スロットルなど、500 ps以上、最高速302 km/hの実力。



とっても狭い目な室内。でも300km/hオーバーしちゃうんだな(OPT'94年12月号参照)、これが。



エンジンは最高速仕様のまま。ラジエター後ろのアルミの筒はブローパイのコレクタータンク。スペースが空いてて寂しいので作ったという噂だ。



足まわりはオリジナルのビルシユタインベース。これも最高速仕様だが、意外にジムカーナでもフイーリングが良かったとのこと。

このシルビアでオーバーオールウインをもたらしていたというが、軽量なS14に、このエンジンなら納得だ。が、ゼロヨンに熱くなりすぎて、リタイアとなった。